

徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

2 0 1 1

徳島地域留学生交流推進協議会

International Student Exchange in Tokushima

目 次

○ 留学生への支援事業	-----	1
○ 留学生交流事業	-----	4
○ 徳島地域の外国人留学生受入の現状	-----	10
○ 留学生の声		
鳴門教育大学大学院学校教育研究科2年 金 熿淨 (韓国)	-----	12
鳴門教育大学大学院学校教育研究科1年 姜 旭 (中国)	-----	13
四国大学大学院人間生活科学研究科1年 吉原ホルバート・ハンガ (ハンガリー)	-----	15
徳島文理大学音楽学部4年 梁 智恩 (韓国)	-----	16
徳島工業短期大学自動車工業科2年 関 世芳 (中国)	-----	17
阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年 ヴ・ミン・トゥアン (ベトナム)	-----	18
阿南工業高等専門学校機械工学科3年 シャワルヒュディン・ビン・モハマド・ドム (マレーシア)	-----	19
徳島大学大学院先端技術科学教育部博士前期2年 丁 浩 (中国)	-----	20
徳島大学工学部4年 カリバ・アグレイ (ウガンダ)	-----	21

○留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

区 分	貸 付 金 額	備 考
一時帰省旅費	帰省旅費（エコノミークラス）の片道相当額	帰国後6ヶ月以内に一括又は分割返済
特別貸付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていたただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は(財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成22年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	徳島大学 15名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	〃 14名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円又は 100,000円	〃 4名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 2名	
日本国際教育支援協会一般奨学金	月額30,000円	〃 2名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額250,000円	〃 2名	
JTアジア奨学金	月額150,000円	〃 1名	
財団法人 朝鮮奨学会	月額70,000円	〃 1名	
岩垂育英奨学金	年額600,000円	〃 1名	
財団法人日揮・実吉奨学会第3種給与奨学金	月額180,000円	〃 1名	
公益法人東電記念財団	月額50,000円	〃 1名	
公益信託齊藤稜兒イスラム研究助成基金	年額400,000円	〃 1名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
日亜奨学金	月額100,000円	〃 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額50,000円	鳴門教育大学 10名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額5,000円	〃 5名	
鳴門ゾンタクラブ女子奨学金	年額200,000円	〃 1名	
授業料免除	年額588,000円(1年)	徳島工業短期大学 10名	70%免除
	年額704,000円(2年)	〃 4名	80%免除
外国人留学生奨学金	1回172,000円	〃 4名	国家試験合格者
外国人留学生学習奨励費	毎月48,000円	〃 3名	女子学生

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 実地見学旅行 新入学留学生ガイダンス 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助、渡日一時金の支給)
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害, 病気・事故による入院への支援 日本語補講(入門クラス, 初中級クラス, 中級クラス, 上級クラス), 日本語能力試験対策講座 外国人留学生見学旅行(日帰り)－会社訪問, 文化施設訪問, 体験学習等 外国人留学生見学旅行(1泊2日)－県外での日本文化体験, 工場見学等 日本文化体験－書道, 着付, 茶道, 大正琴等 外国人留学生新入生オリエンテーション 緊急対応, 交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動, 各種奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島工業短期大学	生活用品(TV, 冷蔵庫, 洗濯機, 自転車等)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講
(財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 防災スタディーツアー 多言語情報提供 多言語電話相談
徳島市国際交流協会	生活用品の貸出 相談窓口の開設 日本語教室の運営 談話室運営 情報提供(ニュースレター, 図書, 新聞)
鳴門ダイバーシティクラブ	私費留学生に対するアルバイト紹介
小松島市国際交流協会	日本語教室の運営(夜間開催) 託児つき日本語教室の開催(日曜日) 外国人向け和食料理教室 生活物資支援
徳島ゾンタクラブ	留学生に生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	留学生への生活用品の提供

○留学生交流事業

平成23年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(財)徳島県国際交流協会	7月18日	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	8月14日	阿波おどり交流事業(国際交流連・あらせわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	11月19～20日	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	通年	TOPIAネットワーク会員講師派遣事業	在県外国人を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
徳島市国際交流協会	4月10日	弁天山さくらまつり	国際交流の集い
	8月12日	阿波踊り	〃
	9月11日	観光地引き網とBBQ	〃
	10月22日	剣山登山	〃
	12月17日	年忘れボーリング大会	〃
	2月4日	新春・国際交流パーティー	〃
	月1回	国際交流フットサル	スポーツ交流
	月1回	淡交会青年部の協力による「茶道稽古」	日本文化に親しむ
鳴門ダイバーシティクラブ	5月28日	鳴門教育大学新留学生歓迎交流会	平成22年度10月・23年度4月入学の留学生、その他留学生と市民との交流のきっかけを提供
	6月12日	徳島ミニツアー	鳴門教育大学留学生及び市民を対象とした徳島の観光資源体験ツアー
	6月18日	中国籍市民交流会	鳴門教育大学の中国人留学生と鳴門市内在住の中国籍市民及び一般市民の交流の機会を提供
	通年	ホームステイ	ホームステイを希望する鳴門教育大学留学生と市内在住のホストファミリーを仲介
	通年	ボランティア日本語教室	日本語(日本語指導)を専門とする留学生に日本語教室での地域ボランティア活動の機会を提供
小松島市国際交流協会	7月17日	外国人阿波踊りコンテスト	阿波踊りを通じての交流
	11月23日	国際交流みかん狩り	留学生と市民との交流
阿南市国際交流協会	6月25日	外国料理教室	留学生及び在住外国人と市民の交流 高専留学生による料理教室
	7月9日	バーベキューパーティー	留学生及び在住外国人と市民の交流 北の脇海水浴場にて
	9月25日	バス旅行	留学生及び在住外国人と市民の交流 大阪海遊館と大阪城
	10月	ホームステイ	留学生ホームステイ受け入れ
	11月下旬～12月上旬	みかん狩り	留学生及び在住外国人と市民の交流
	1月	新年会	新年会前日に看板作製(留学生が担当する) 留学生及び在住外国人と市民の交流
	3月	国際親善賞表彰	阿南高専卒業留学生の表彰
北島町国際交流協会	5月15日	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	11月6日	世界のお手軽料理教室	料理を通じての国際交流
	12月3日	国際親善ハッピーライブ	歌や踊りを通じての国際交流

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島YMCA	7月14日～ 8月16日	ICCPO(International camp counselor project in Osaka)	阿南市椿泊にあるYMCAの阿南国際海洋センターでアジア各地の青年がキャンプカウンセラーを通じ、文化交流を図る
徳島ゾンタクラブ	12月19日	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流
徳島大学	不定期	日本文化体験	伊方原発見学(8月)、留学生実地見学旅行(12月)、留学生スキーツアー(1月)
	7月、12月	ホームステイ	留学生が日本の家庭を訪問し、日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する
	11月3日	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生、日本人学生及び地域住民との交流会
	3月1日	外国人留学生の卒業・修了を祝う会	卒業・修了予定の留学生と教職員等との交流懇談会
	不定期(月1回)	国際交流サロン	留学生と地域住民・日本人学生が日本語を通して共に学ぶ協働の場。餅つき(5月)、書を楽しむ(6月)、浴衣を着て阿波踊り(7月)、日本の伝統的な遊び(9月)、茶道(10月)、留学生のお国紹介(11月)、華道を楽しむ(12月)、世界の料理(1月)、着物の歴史を学ぶ(2月)、ひな壇飾り(3月)
	不定期	日本語教育シンポジウム	「地域のための日本語」ワークショップ(10月) 今後2回実施予定
	7月、2月	小学校訪問	地域の小学校を訪問して、留学生の自国を紹介し、児童との交流を行う
鳴門教育大学	6月24日	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生、学部生、教職員との交流会
	10月26日	高島地区住民との料理交流会	地域住民との国際交流
	平成23年10月～平成24年1月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	随時	留学生面談会	生活及び進路相談、近況報告
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	4月22日 9月25日	留学生懇談会	新入留学生を迎え、当該国出身教員を含めて、相互の懇親を深める目的で懇談会を実施。以後各4半期を目途に随時実施。
	5月14日	新入生歓迎懇談会	留学生及び国内離島等出身の学生に対し、学園理事長主催で、歓迎懇談会を開催し、懇親を深めた。
徳島工業短期大学	4月1日	留学生歓迎昼食会	留学生の近況報告会来日を歓迎する会
	4月23日	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(勝浦)
	6月24日	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	11月26日	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(大阪)
	12月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	1月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
阿南工業高等専門学校	4月27日	留学生と高専学生との交流会	新たに留学生を迎えての、高専学生と英会話のみによる交流
	5月14～15日	留学生実地見学旅行	日本事情の実地見学
	6月29日	国際交流懇談会	阿南市職員、阿南市国際交流協会役員との懇談会
	10月22～23日	ホームステイ	ホストファミリーとの交流
	11月5～6日	蒼阿祭	高専の学生および市民との交流
	12月17～18日	四国地区高専総合文化祭	他高専の学生、留学生および市民との交流
	毎週木曜日	イングリッシュ・カフェ	留学生と高専学生との英会話のみによる交流

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
鳴門ダイバーシティクラブ	鳴門市撫養町南浜31-45 シティハイムpart1 205号室 (株)スモールワーク内	088(683)0270
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)2191
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畷103-1 西野建設(株)内	0884(23)5599 (夢ホール市民協議会内)
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	徳島市丈六町八万免21-6 山本滝子様方	088(645)0091
国際ソロプチミスト徳島	徳島市東山手町3-10 杉浦正美様方	088(622)3138
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161

交流風景

徳島県国際交流協会



日本語弁論大会



阿波おどり

鳴門ダイバーシティクラブ



新留学生歓迎交流会



徳島ミニツアー

小松島市国際交流協会



外国人阿波踊りコンテスト



国際交流みかん狩り

阿南市国際交流協会



バス旅行



料理教室

徳島工業短期大学



留学生歓迎昼食会



留学生誕生会



研修旅行

徳島大学



国際交流サロン:書道



国際交流サロン:留学生のお国紹介



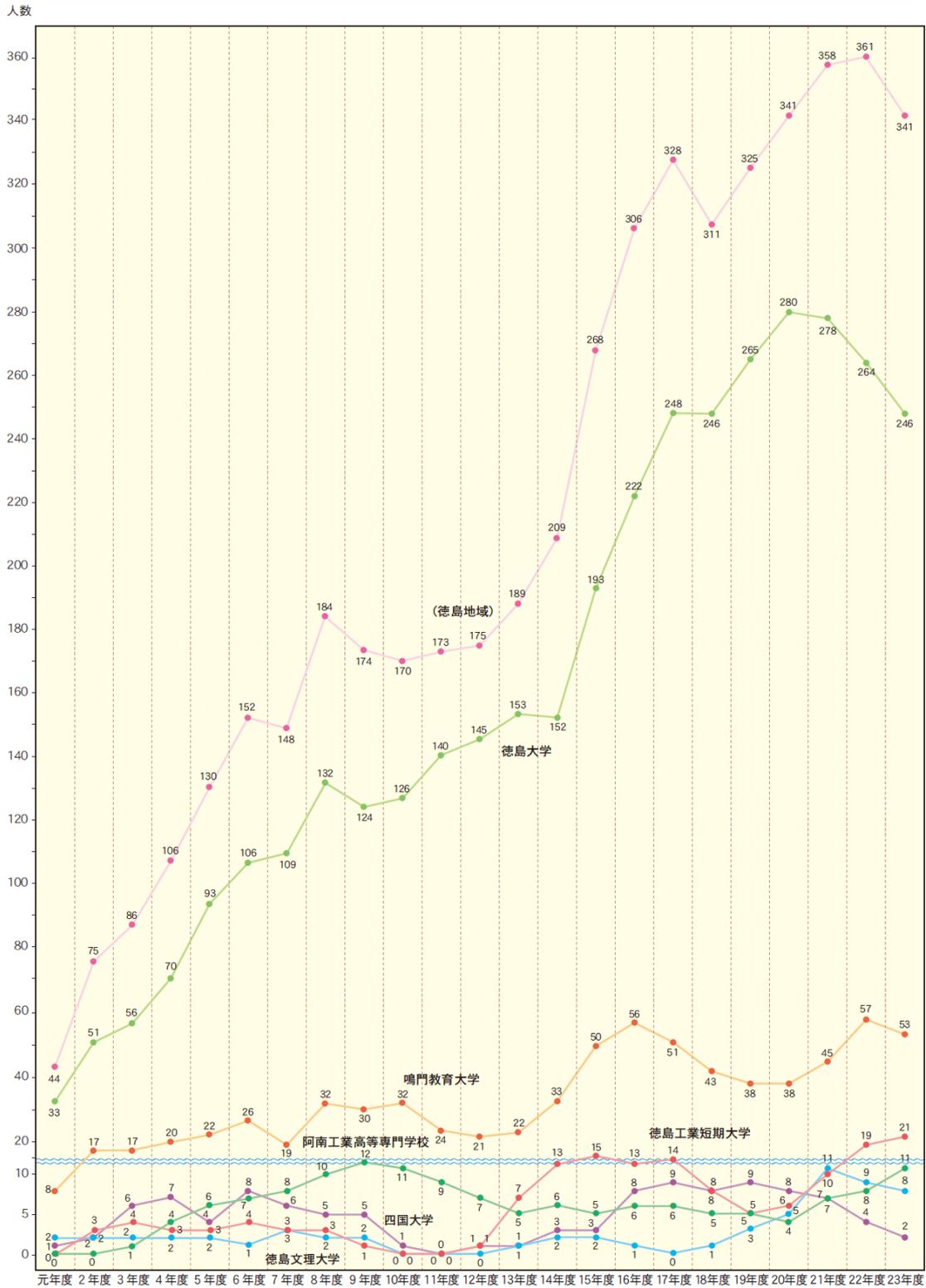
日本語教育シンポジウム



多文化交流会

○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成23年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	114	34	1			1	16		166
	韓国	24	2		3					29
	台湾	6	1		3		1			11
	マレーシア	19							5	24
	インドネシア	12	3						1	16
	バングラデシュ	12						1		13
	ベトナム	9						4	3	16
	フィリピン		1							1
	東ティモール	1								1
	モンゴル	24							1	25
	タイ		3							3
	ラオス		1							1
中近東	アフガニスタン		1							1
	クウェート	1								1
ヨーロッパ	ベラルーシ	1								1
	ハンガリー			1						1
アフリカ	エジプト	12								12
	ウガンダ	1								1
	ガーナ		1							1
	ケニア	2								2
	マラウイ		1							1
	ルワンダ		1							1
	モロッコ								1	1
	ギニア	1								1
北米	アメリカ合衆国	4								4
中南米	パラグアイ	1								1
	メキシコ	1								1
	ペルー	1								1
大洋州	フィジー		2							2
	サモア		1							1
	ソロモン諸島		1							1
合計		246	53	2	6	0	2	21	11	341



頑張れ日本！さよなら徳島。

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科 2年

キム ヒ ジュン
金 燻淨

韓国

2007年、日本での留学を希望する夫に従って、当時3歳の息子連れて日本行きを決心しました。愛する親類や友だ

ちと離れて、言葉もわからない、知り合いもないところで生活することは思った以上に苦痛でした。精神的に落ち着かない日々がしばらく続くと、今まで自分が誇りと思っていた、教師の仕事を手を離してわざわざ日本に来る必要があるのかという不満で一杯でした。

実際に生活してから、いつの間にか、自然に恵まれている徳島に魅了され、溶け込んでいる私がありました。鳴門の豊かな自然と新鮮な空気は、弱っている私を慰めてくれて、美味しい鳴門金時とわかめが故郷を味わわせてくれたお陰だと思います(笑)。それより温かい地元の人々との出会いが心の支えになったことも忘れられないでしょう。

今は、第2の故郷として鳴門に馴染み、家族みんな学生という自分の立場で難なく生活しています。私も教師としての自己実現と夢を追って、昨年度から大学院に入学し、修了を目の当たりにしています。3月には、国へ帰ることになります。5年間、回りの人々に支えられながら、楽しく生活し、自分が目標としていたことを成し遂げたと思っています。2011年は日本で過ごす最後の年なので、海外生活の締めくくりをつけるため、もっと様々な経験をすることで、今度は再び始まる母国での生活に対する不安を忘れようとしています。

そんな中、ある日突然、インドネシア出張中の父から電話がかかってきました。緊迫した声で、「大丈夫？」と言われました。いきさつを聞いてから、安否を伝えて電話を切りましたが、地震発生から間もない時間に、外国にいる父までニュースで知ったということは、ただ事ではないかもしれないという予感がありました。

3月11日の夜、家に帰ってテレビをつけると、私と家族みんなは、流される

映像にびっくりして、口をあぐりと開けてしまいました。東日本で起きた大地震、大津波、そして数日後に起きた福島の原子力発電所の水槽爆発、放射線の流出など未曾有の事態が起きていました。津波で、一瞬で家族を失って、故郷にも帰れない被災地の人々を考えると、胸がジンと熱くなります。原子力発電所では、今日も放射線の収束に向けて頑張っていますが、簡単に収まる余地はないようです。

毎日、報道される震災のニュースに私自身がパニックに堕ちて、大学の勉強や家事が手に付かない日々が当分の間続きました。ところが、もう一回驚いたのは、その中でも希望を失わず、互いに助け合い、冷静に対応しようとする姿勢、収束に向けて一丸となって自然の怖さと闘う人々がいました。それを見て、日本は今の困難をいつかは乗り越え、震災地も必ず復興でき、元の生活に戻れると信じるようになりました。「頑張れ日本！」

私は、留学を終え、母国に帰りますが、これからも日本のニュースに耳を傾けること、募金活動に参加することなど、小さいことでも被災地の力になりたいです。いつかは、家族で、東北地方に観光に行ってみたいなと思っています。さよなら！日本。また、来ます。

徳島が教えてくれた幸せ

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科1年

キョウ キョク

姜 旭

中国



初めて徳島県に来たのは2011年の2月のことでした。記憶に深く残ったのは、鳴門に来る途中で海と青空を見て、その日一日中笑顔を止められなかったことです。そして徳島の美しい自然と綺麗な空気に感動し、仏教の境随心転（物質的・人事的な環境は人の心・意念によって変化する）の教えを思い出して、「この人はきっと優しい心を持っている菩薩のような人だろう」と、その時に思いました。

それは私の思った通りでした。いつもお世話になっていて、その親切な心遣いにどうすれば気持ちを伝えられるかも分からないほど感謝している鳴門教育大学の先生方は言うまでもなく、全然知らない道行く人達の熱心な助けにも感動し、私のような外国人にとって、まるで故郷に帰ったような暖かさを感じました。

徳島の自然と空気、そしておいしい野菜にも感動し、それはいつまでも忘れられないものとなっています。また、時々外の綺麗な空気を呼吸しながら、それをボトルに入れて、中国に持ち帰り、親と友達にも感じてほしいと思っています。もちろん中国にもたくさん綺麗なところがあります。しかし今現在、多くの都市、特に大都市には、経済の発展をひたすら求めたため、住民たちはもうこのような空気を感じるができなくなって久しいでしょう。しかもそれは中国にしか見られない現象ではなく、世界中普遍的な現実なのではないでしょうか。

そういえば、大都会の人々は、めったに笑顔を見せてくれませんか。ある意味では物質上の裕福と生活の便利さは昔の皇帝や貴族よりも高いのに対して、あまり幸せなようには見えません。幸せは一体どこから生まれるのだろうか。徳島に来て初めて考えました。

幸せは、たぶんお金や利益を求める競争からよりは、自然と他人に対して優しい思いやりを持つことから生まれるのではないだろうか、徳島の人々の幸せそうな笑顔から分かりました。

幸せって誰でも求めているものではないでしょうか。でも、逆に幸せの元となるものを捨てて、幸せを失うことがあります。私の夢は、将来どのような職業に就こうとも、幸せな人になり、そして周りの人や、子供たちも幸せになることです。ですからこの徳島で学んだ——「自然と他人からもらった恵みを感謝の気持ちを持って大切にし、そして自然と他人に対しても同じように接する」との生き方に沿って生きて行きたいです。幸せはそもそもこんな簡単なものではないでしょうか。それを教えてくれた徳島と徳島の人に感謝します。ありがとうございました。ここに来て良かったです。



藍の出会い

四国大学

大学院人間生活科学研究科 2年

ヨシハラ

吉原ホルバート・ハンガ

ハンガリー

ハンガリーからの留学生、吉原ホルバート・ハンガと申します。現在は四国大学人間生活科学研究科の大学院生です。日本の藍染めに魅せられ、羽賀敏雄教授のご指導を受けて日本とハンガリーの捺染、模様染めの比較研究をしています。今は一生懸命卒論を書いているところです。

来日する前、奨学金を受けるための面接の最後の質問で、専門的な研究以外で何か夢はあるでしょうかと聞かれました。その時、一瞬躊躇しましたが『凄く大げさに聞こえると思いますが、日本やハンガリーのアート、アーティストの架け橋になりたいです。』と答えました。すると面接官の方から『そういう人を募集したいのです。』と言われ、嬉しくてびっくりしたのをよく憶えています。

それから3年の間にハンガリーの藍染めを紹介する発表を日本で7回、ハンガリーでも日本の藍染めについての発表を3回、やらせていただきました。

早いもので、四国大学での勉強は4年目になっています。大学院生としての活動以外にも、様々なワークショップや国際研修会の手伝いをしたり、展示会に参加することで、国内や海外の作家さん達と知り合いになったり、藍がきっかけで夫と知り合えたりと、色々なユニークで貴重な経験が出来ました。これらはまさに「藍の出会い」ですね！

藍染めは徳島の人にはよほど身近なものらしく、学生達は「藍染めがハンガリーから習いに来るほど大事なことなの？」と思うようです。しかしヨーロッパでは、日本の藍染めのように天然染料と高度な染色技法を用いる文化は残っていません。日本の藍染めは世界的に見ても素晴らしい文化です。徳島の人はずっと藍染めのことを誇りに思ってもよいと思います。私も縁あって徳島に暮らす事になったからには、ほんの少しでも阿波藍の発展に貢献できれば嬉しいです。

徳島に留学して思うこと

徳島文理大学

音楽学部 4年

ヤン ジウン

梁 智恩

韓国



私は、韓国のソウルから来た梁智恩と申します。去年4月から徳島文理大学に編入学し、今は4年生になりました。

外国にいと日本の素晴らしいことはたくさん入ってきますが、その反面そうではないニュースもたくさん入ってきます。例えば、中学校、高校はもちろん、最近では小学校までいじめによる自殺や登校拒否があるというニュースも伝わってきました。

あるいは、隣に住んでいるおばあさんが亡くなっても誰も気がつかなくて、1か月後に発見されたという話もありました。韓国では、信じられないような話です。東京で住んでいる友達から、よく日本の話を聞きましたが、入学して一番大変だったのは言葉よりも友達を作ることだったそうです。

「心を開いてくれる人が少なく、個人主義で、情けがない。」という話を聞きました。

それに、日本は地震が多い国として知られているので、地震が全くない韓国で日本はいつも揺れるからすごく危ない国と思う人が多いです。

私が来日する前に、友達に日本に留学すると言ったら、周りの人たちは皆、「いじめにあったらどうするの?」とか、「きっとさびしいと思うよ!」または「生きて戻ってきて!」などとすごく心配されました。

ですから、私は、こちらに来る前に、相当心の準備というか、覚悟を決めました。

日本に行ったら、たとえいじめられても、病気などで体がきつくても、がんばろうと思い、徳島へやってきたわけです。

ところが、徳島に来てみると、いじめとかは全くなく、周りの人たちは皆やさしい言葉をかけてくれ、びっくりしました。学校で困ったことがあっても同級生や、先生達がすごく優しく助けてくれたり、授業中に知らない単語や、韓国人の苦手な漢字があったときには、みんなが調べて教えてくれたりしました。

また、ある日、駅前で地図を見ながら道を探しているときは、私に近づいて

きてくれて、「どこに行きたいの？」と教えてくれました。来日する前に考えていた感じとは全然違いました。みんなとても優しく、いまでもあの時のことを感謝しています。

そして地震のことも、むしろ地震大国だからこそ、地震に対する備えなどいつも準備ができているから安心だと思います。今年の3月にあった地震も、日本だったからこそ迅速に避難できた人もいて、みんなすごく冷静に対処したと思います。その姿に驚きました。もし韓国で同じ規模の地震が起こったら、地震対策をしていない韓国人はパニックになると思います。今回の日本の被害よりも大きいと思います。

こんなことがあって、私の日本のイメージは全く変わりました。

ですから、最近では、もし卒業してもその後日本に残って働くか、もっと勉強したいと思っています。担当の先生にお願いして就職活動も始めました。

本当に、徳島に留学してよかったと思っています。



留学生からみたとくしま

徳島工業短期大学
自動車工業学科2年

カン セホウ
関 世芳 中国

私は中国の内モンゴルからきた留学生です。内モンゴルはとてもきれいなところ
です。草原も広い、モンゴル民族はとても
やさしい民族です。私もモンゴル民族です。

私は日本にきて三年になりました。日本はとてもきれいな国だから私は好きです。私は日本の仙台市で一年半ぐらいますんで、日本語の学校で日本語を勉強しました。日本語学校を卒業したあと、徳島市にいる友達から徳島工業短期大学をしりました。車に興味があったので、仙台から徳島にきました。徳島はきれいなところですが、仙台にくらべると夏はとてもあついです。でも、冬はあまりさむくないのはありがたいです。内モンゴルはさむいところ
です。マイナス30℃くらいになります。

徳島工業短期大学にきてから日本人の友達も多くなりました。大変楽しいです。大学は板野町にあります。この間、あの有名な白鵬が板

野高校の相撲部に親善にきたのでビックリしました。町内の人々は横綱を大歓迎しました。私は中国人ですが、同民族の白鵬が国のちがいをこえて多くの人々に歓迎されているのを知って大変嬉しく思いました。

徳島の八月中旬ごろは、阿波おどりがあります。徳島で一番にぎやかなまつりです。県外からも外国からも人が大勢徳島に来ます。阿波おどりに参加する人がとても多いので、私も参加しました。楽しかったです。またこの地にはおいしいものもいろいろあります。徳島のラーメンは日本料理で有名です。私の一番好きな食べ物です。

あと半年で卒業します。将来の夢は自動車の会社で就職することです。希望に向かって頑張りたいと思っています。

ありがとうね、徳島

阿南工業高等専門学校

電気電子工学科5年

ヴ ミ ン ト ャ ン
VU MINH THUAN ベトナム



私は日本に住んでそろそろ4年間になります。ベトナムにまだいた時に、「日本に行ける」と知らされて、涙が出るほど嬉しかったです。「もうすぐ、素晴らしい教育環境に行けるな」というお祝いを友達や家族によく言われて、その感じは今までも忘れません。結局、東京に来て、毎日、驚かされることがあって、生活は楽しかったです。でも、東京とは、世界の有名な所で、よく知られている所なので、そんな生活は予想した通りでした。

しかし、徳島県に来てから、予想できていなかったことがありました。それは徳島県の人々のことです。こんなに温かくて、親切で、外国人にたくさんイベントを開催してくれて、本当に感動しました。最初の授業で、いろいろな先生が私に「日本語がわかりますか？もうちょっとゆっくり説明しますよ。頑張ってくださいね」と言ってくださいました。また、教科書をかったり、クラスの一番前に座らせたりしてくれて、感動しました。そして、週末には、国際交流協会

はいろいろな活動、またはイベントを行って来ていました。バス旅行、料理教室、ホームステイなどで、いろいろな楽しい体験ができて、嬉しかったです。その時から、ずっと日本は二番目の自分の地元だと思っていて、福島県原発事故のことを知ったときは、とても悲しかったです。その日は、「日本頑張れ、日本頑張ってね」と祈っていました。私はベトナム人なので、いつか絶対国に帰国したいと思っていますが、本当に日本、東京、徳島県、阿南高専、国際交流協会の皆様はいつまでも忘れません。皆さん、いつもありがとう。いつも元気でやっていてね。



私の日本での生活

阿南工業高等専門学校

機械工学科3年

シャワルヒュディン ビン モハマド ドム
SYAWALHUDIN BIN MOHD DOM

マレーシア

私はシャワルと申します。マレーシアから来ました。阿南工業高等専門学校機械工学科の3

年生です。今日は日本の生活についてお話しします。

日本に来る前にマレーシアで日本語と日本の習慣を少し勉強しました。しかし、日本に来てみるとみんなの話がよくわからず、習慣もかなりちがってしまいました。まず、徳島に来て皆が阿波弁を使っているのでまったくわかりませんでした。「この日本人は何を言ったか僕、全然分からない。ちゃんと標準語を使つてよ。」と私は心の中で思いました。ちょっとおかしいことがありました。私の日本人の友達が「いける。」という言葉を行いました。私は「いける。」の意味は「行こう。」ということだと思いました。だから、私はちょっと準備をして「はい、行こうか。」と言いました。それを聞いて、私の友達は笑っていました。これは本当に恥ずかしいことでした。なぜかと言うと、この「いける」の意味は「大丈夫」ということだったからです。

次に日本の習慣について話します。前に習ったこととは全然違いました。日

本に来る前には基本的なことを習いましたが、徳島に来てもっといろいろな習慣がありました。例えば、買い物をする時、買った物を自分で袋の中に入れます。そのことはほんとに驚きました。マレーシアではそんなことをしないで店員がお客の買ったものを入れてあげます。

また、あるレストランでは自分でお皿とカップを決められたところに返しに行きます。マレーシアではありえないことで、それは本当にいいことだと思います。

それから、ゴールデンウィークのとき、私は他の高専の友達といっしょに大阪へ旅行をしました。大阪の人は本当に友達になりやすかったです。店員もいつも笑顔で話してくれました。それはいい感じでした。

私のびっくりしたことは電車です。大阪駅にだいたい3分ごとに来ています。めっちゃ早いです。時間も守るしチケットのねだんも安いです。それは大阪だけで東京の方はまだ分かりません。私のモロッコ人の友達に聞いたら、東京はもっとすごいそうです。行きたいです。早く夏休みになって、東京へ行きたいです。

私が見た徳島

徳島大学

総合科学教育部地域科学専攻

博士前期課程2年

テイ コウ
丁 浩 中国



2009年10月に中国の上海から来た丁浩と申します。来日して二年になりますが、期待と不安の気持ちで胸をいっぱいにして日本行きの飛行機に乗った日が、まるで昨日のように感じられます。徳島に到着したときはすでに夜8時半になっていました。しかし、先生がわざわざ高速バスのバス停まで私を迎えに来てくださり、寮に連れて行ってくださいました。その日、日本の先生の親切さをしみじみと感じ、徳島に

来て本当によかったと思いました。

最初は、徳島のバスの乗り方や食習慣などが上海と異なり、カルチャーショックを受けました。でも、「郷に入れば郷に従え」という諺があるように、生活していくうちに、次第に慣れてきました。この二年間を振り返ってみると、自分にとっては非常に有意義で充実した徳島での生活を過ごすことができたと思います。学校で専門の知識を学び、また、日本人の友達も沢山作ることができました。徳島大学と徳島県や市の国際交流協会のおかげで、留学生としての生活も万華鏡のように豊富で多彩になりました。剣山登山、宮島観光旅行、京都への現地見学旅行を通して、日本ならではの自然風景を見ることができました。また、ホームステイ、「一緒に阿波踊りを踊ろう」といったイベントなどを通して、徳島の素晴らしい文化を体験できました。徳島は上海ほど賑やかではなく、繁華街も少ないですが、このような静かで素晴らしい環境が整った徳島だからこそ、いろいろな美しい思い出ができたのではないかと思います。

留学生活はそろそろ終わりますが、私は宝物のような思い出をくださった徳島を忘れず、徳島で得た知識や体験を持って、新しい人生の道へ旅立とうと思っています。



来てよかった徳島

徳島大学

工学部電気電子工学科 4年

カリバ アグレイ

Kaliba Aggrey ウガンダ

私は東アフリカのウガンダから来た留学生です。ウガンダは赤道直下の国で、一年中湿度が低くてとても暑いところです。2006年4月に日本に来ました。大阪に3年間住んでいました。一年間日本語学校に通い、それから大阪にある電子専門学校に進学しました。専門学校終了後、もっと電子の勉強を続けたかったので、大阪から近い徳島大学に進学することに

しました。LED を発明した人が徳島県出身で、徳島大学に通ったことを知り、とても感動し、徳島に行くことが本当に楽しみに became ました。

日本のすばらしい技術に憧れて、徳島県にやってきました。まず眉山が私を迎えてくれ、そして、四国三郎と呼ばれる美しい吉野川が見えてきました。大学に行くときにいつも通る長い吉野川橋が好きになりました。夏になって風が吹くと気持ち良くて、風も「おいしい」と感じるようになりました。徳島の人たちが吉野川を大事にしてきたことも知りました。吉野川の植物をはじめ、生き物やダム、橋、イベント、花火祭りなどについても学びました。

徳島で一番印象が強いのは、ブラジルのカーニバルと比べられる阿波踊りです。踊りの熱さ、町のにぎやかさ、楽しさは、本当に魅力的です。それは自分も踊ってみてよく分かりました。また、阿波踊りを通して多くの人と知り合うことができ、日本人たちと心の距離もなくなってきたと感 じることができました。阿波踊りの服を着て踊っている姿はきれいだし、なによりも笑顔が素敵です。

最後に忘れていけないのは、徳島の食べ物のおいしさです。大阪にいたときにはラーメンはあまり食べませんでした が、徳島ラーメンはとてもおいしく気に入りました。また柔らかい阿波尾鶏の肉は本当においしいと思います。ウガンダと違って、硬い鶏の肉もおいしいです。

現在、徳島大学電気電子工学科に所属し、日常生活と関係が深い生体工学を勉強しています。今年の4月から徳島大学大学院に進学することになり、より専門的に生体工学を学ぶつもりです。将来は国際社会に貢献できる人間になることを目指しています。

これからもよろしくお 願いします。